

## 2022年度 人間学部・人間学研究科 対面授業プロトコル

本プロトコルは、本学の対面授業実施プロトコルに沿った標準的な手続きを示したものです。現時点での内容で、今後の状況により適宜修正を行うことがあります。

実習・実技・実験授業等、授業内容や形態が異なるために下記に加えてより配慮すべき事項がある科目においては、担当教員が別途プロトコルを作成し、Microsoft Teams のチーム「人間学部・人間学研究科 One Team」の「一般」チャンネル「ファイル」タブのプロトコル保管用のフォルダに提出してください。

## 【1. 使用教室の確認】

- 教室の換気、机・イス等のレイアウトを確認し、着席位置、換気および授業の実施方法を検討する。

## 【2. 受講生への周知】

- 対面授業の日時を受講生に通知する。
- 「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル学生用」にしたがって行動することを指示する。とくに、入構時の手指消毒と学生証による入構記録、「健康観察チェックシート」による健康観察と記入、判断例に基づく登校可否の判断と登校時の携帯、の徹底を求める。
- 当該科目における出欠のとり方(遅刻や欠席の扱い)について説明する。

## 【3. 受講生の入室】

- 教室の出入口および窓を開放しておく。
- 教室入室前に教室前設置の手指消毒薬にて手指消毒を行うこと、教室内に設置の消毒液と紙タオルにて机・イスなど自分自身が使用する場所・物品の消毒を行い、使用した紙タオルは指定のゴミ袋に片付けるよう指示する。
- 着席位置は、左右に隣り合って座ることがないように指示する。
- 受講生の当日の着席位置を記録し、保管する。座席指定を行う場合は、事前に作成した座席表(書式は教務グループより入手)にしたがって着席させ、記録をとる。座席を指定しない場合は、座席番号を記した座席表を作成・提示し、座席番号をリアクションペーパーに記入させる等により記録をとる。

## 【4. 授業の実施】

- やむを得ず出入口または窓を閉めなければならない場合、30分に1回、5分程度の換気を行う(窓は強い風雨時以外は常時開放する)。
- 教員と受講生との距離を1m以上は確保する(マスク着用に加えフェイスシールドも利用可能)。
- マスク着用でも、受講生が会話をする活動は控える。やむを得ず実施しなければならない場合には、正対せず、または1m以上の距離をとり(大声にならない範囲)、数分程度の短時間で実施する。
- 教員と受講生、受講生同士が密接する授業内容を実施する場合、マスク着用、手指消毒を徹底した上で実施する。とくに密接する実技等は、原則、1行為後には手指消毒を行う。
- ペアまたはグループの活動を行う場合、メンバーはできる限り固定する。
- 必要に応じて、授業で使用した器具等の備品を、使用した受講生自身が消毒するよう指示する。

## 【5. 授業後】

- 教室の出入口および窓を開放する。
- 使用した場所の消毒を受講生自身で行い、できるだけ密集を避け、速やかに退出するよう指示する。